

北斎かわらばん

北斎館(仮称)ニュース

第3号

平成20年(2008年)12月発行



「忠臣蔵討入 大判錦絵三枚続」(37.9×78.8cm)

『すみだ』と『北斎』

— 北斎の描いた

『すみだ』② —

吉良邸

北斎が春朗と名乗って
いた二十歳代〜三十歳代前
半頃の作品で、元禄十五年
(一七〇二年)十二月十五
日未明に実際に起きた、赤
穂浪士の吉良邸討入り事件
を劇化した『仮名手本忠臣
蔵』を題材としています。

大判錦絵を横に三枚並べ
たワイドな画面で、高家
(赤穂事件では吉良家)に
討入った浪士たちと逃げ惑
う家臣の様子が詳細に描か
れ、左下では、炭小屋に潜
んでいた主の高師直(吉良
上野介)が発見されるク
ライマックスの場面が描か
れています。

現在、区内両国三丁目の
本所松坂町公園に一部を残
す吉良邸跡は、吉良家上屋
敷のあった場所で、討入り
の舞台となったところです。



本所松坂町公園
(吉良邸跡 墨田区両国3-13-9)

北斎と、この赤穂事件に
は不思議な縁があります。
討入りの夜、吉良上野介
を守って討ち死にした小林
平八郎は、北斎の母方の曾
祖父だったといい、北斎が自
らそのことを周りの人々に
語ったと伝えられています。

赤穂事件の後、吉良邸は
取り潰されましたが、その跡
地に屋敷を拝領した中島伊
勢は北斎の叔父で、北斎は幼
少のころ、この叔父の養子に
なったといわれています。

【発行】
墨田区区民活動推進部
文化振興課
北斎館建設準備担当
☎03-5608-6115

【編集協力】
財 墨田区文化振興財団
北斎担当

ふれあい活かす

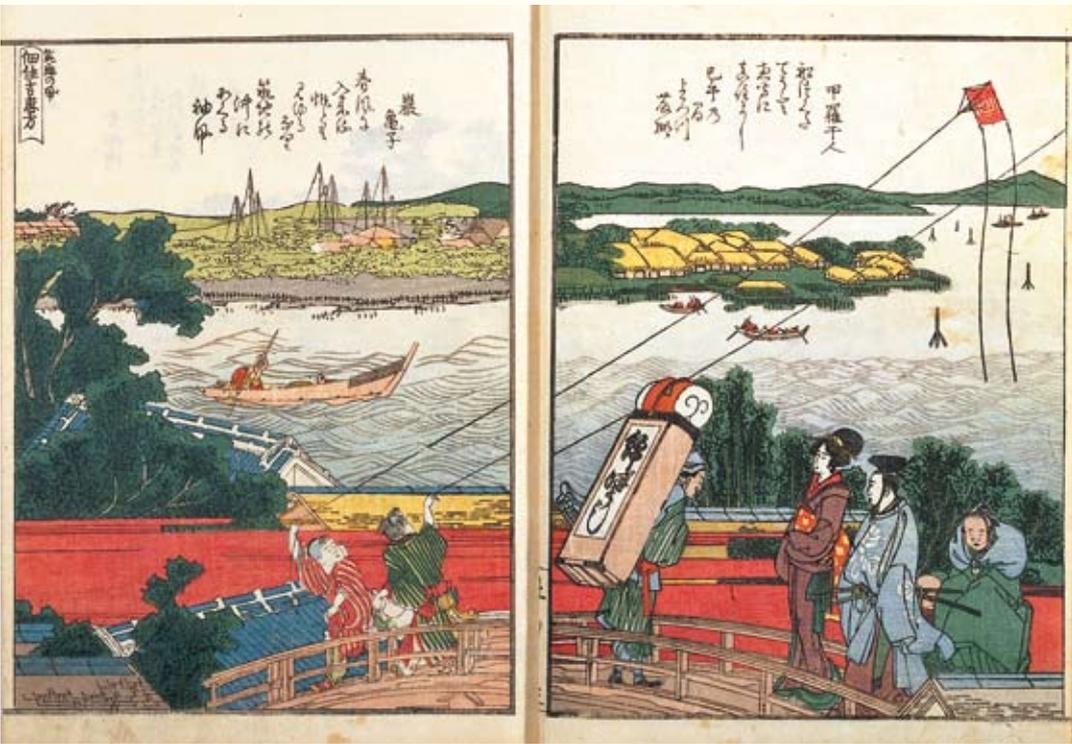
すみだ

北斎館（仮称）の 収集保存事業

墨田区が開設を計画している北斎館（仮称）では、優れた資料を継続的に収集

し、修復・保存を適切に行って、貴重な資料を次代へと継承していくこととしています。

本区の収集事業の特筆すべき点は、前号でご紹介し



『絵本隅田川兩岸一覽』より「築地の風 佃住吉恵方

た故ピーター・モース氏をはじめ、高名な研究者から資料の寄贈を受けていることです。

その中には北斎研究の第一人者であった故檜崎宗重氏から譲り受けた、四百八十点余の浮世絵版画等のコレクションがあります。これらの資料については、墨田区文化振興財団が整理・研究し、平成十七年に図録としてまとめました。

収集した資料は、素材の特質に応じて常に良好な環境で保存し、修復が必要な資料については、適切に対応しています。

北斎館（仮称）では、成長し続ける美術館をめざして、状態が良く質の高い資料を収集し、充実させていきます。また、これらを活かし、北斎に関する新たな角度からの調査・研究を重ね、その成果を反映させた魅力的な展示を行っています。

— 映像で出会う葛飾北斎 —

DVD「北斎の世界」の貸出しを行っています

葛飾北斎の九十年にわたる生涯と、すみだと北斎のかかわりを、代表的な作品とともに映像でご紹介するビデオソフト「北斎の世界」のDVD版を作成しました。

このソフトは、平成六年に制作したのですが、今回のDVD化にあたり、画像をより鮮明にする処理を行うとともに、解説のナレーションも日本語が英語の音声を選択できるようにしました。



十一月下旬から区立図書館やコミユニティ会館の図書室で貸出しを行っています。長い歳月を経た今日でも、ますます新鮮な輝きを放つ北斎やその名品の数々をぜひ、映像でもお楽しみください。